

ISAF 年次総会カウンスル報告

2003.11.29

ISAF カウンスル

穂積八洲雄

2003 年度総会カウンスルは 11 月 13 日より 15 日までバルセロナにおいて行われ、380 余りの議案に対して採決した。議決はやがて Website 上に発表されることであるし、各委員会出席者からの報告もあるので重要なもの、JSAF に関連するもののみについて報告する。

MNA 会費の値下げ: アテネ以後のオリンピック放送権料の高騰で収入増が見込めることからカテゴリーを 6 段階に増やし、最低の第 1 カテゴリーの会費を 50 ポンドとし、第 2 カテゴリー以上はこれまでのものから一段階下の会費とすることになった。JSAF は第 5 カテゴリーとなるが 9,437 ポンドから 4,719 ポンドとなる。ただし、即時実施は 1 から 3 カテゴリーまで、それ以上のカテゴリーについては IOC からの給付額決定次第実施

- ・各クラスの年会費は 150 ポンドに確定。因みに来年度 ISAF 予算も暫定となる。
オリンピック関連：オリンピックでは捨てレースなしとする。最終日は 1 レース、49er 以外は一日 2 レース以上行わない。賛成 23、反対 13、棄 2
- ・アテネオリンピックのジャッジに大谷たかを氏決定
- ・2008 年の 11 イベント（男子一人乗り、女子キールボート等の種目について）が決定。
- ・将来の使用艇種について、カウンスルの 75%以上の賛成を得られれば 4 艇種まで 7 年前に決定することができる。
- ・アテネ大会のコーチ、コーチボートについて、これまでの制限に加え、1 . a) 選手、支援者は会場に気象情報を得るための電子測量機器を設置してはならない。b) コーチボートには、計時用電子機器、VHF ラジオ、ボート及びエンジンの安全操作に係る電子機器以外は乗せてはならない。2 . 適用、開場から閉会式まで（8/2 - 8/28）
ユースワールドについて：マルチハルオープンはスピナーカー付きホビー 16
- ・世界選手権等についての参加年齢制限については審議先送り
その他：副会長 7 人のうち 2 人、カウンスル 39 人のうち少なくとも 8 人を女性とする。
ヨーロッパ 3 人、アメリカ 2 人等割り当て。アジア、オセアニアは割り当てなし
- ・副会長は 50.1% 以上の得票を必要とする。
- ・セーリング委員会、計測委員会等 6 委員会を 1 つの技術委員会にまとめる案先送り
- ・オフショア委員会を 12 人プラス議長に縮小する案先送り
- ・IRC ハンディキャップシステムを国際レーティングシステムとして採用
- ・オリンピック艇種の世界選手権のメディアライツを ISAF のものとする（TV 契約のため）
- ・主なイベントの ISAF フィー改定、IU の手当ても \$100/day + \$200 (G-1)等に値上げ

- ・国際ジャッジ再任承認、秋元和子（4年）、秋山福夫（2年）
セーリング規則 42 条についての CD 制作に関し大谷たかを氏の貢献に感謝された